

自然や生き物のことが学べる施設や場所

市内各地には、自然や生き物のことを学べる施設や場所があります。



①川崎市黒川青少年野外活動センター



②ニヶ領せせらぎ館



③大師河原干潟館
(大師河原水防センター)



④CC かわさき交流コーナー



⑤生田緑地ビジターセンター



⑦夢見ヶ崎動物公園



⑥かわさき宙と緑の科学館



⑧川崎市環境総合研究所



⑨かわさきエコ暮らし未来館

「生物多様性かわさき戦略～人と生き物 つながりプラン～」の本編は、川崎市ホームページからダウンロードすることができます。

生物多様性かわさき戦略

検索

発行・編集 川崎市環境局総務部環境調整課
TEL:044-200-3720 FAX:044-200-3921



生物多様性かわさき戦略 ～人と生き物 つながりプラン～

概要版



目次

- 生物多様性とは 1
- 私たちの暮らしを支える生物多様性の恵み（生態系サービス） 1
- 生物多様性の危機 1
- 川崎市の生物多様性の現状と課題 2
- 生物多様性かわさき戦略の役割 2
- 川崎市の自然環境 3
- 6つの「生態系エリア」 4
- 戦略で目指す将来ビジョン 5
- 生物多様性の保全に向けた施策 7
- 生物多様性の保全に向けた取組 9
- 各主体における役割 10

「生物多様性かわさき戦略～人と生き物 つながりプラン～」とは

私たちが暮らす川崎市は、日本でも有数の産業と研究機関が集積した都市ですが、高尾山麓から三浦半島まで続く丘陵や多摩川をはじめとした河川、そして海といった様々な自然環境を有し、それぞれの自然環境を背景に多様な生き物が生息・生育しています。

生物多様性は、私たちの生活に様々な恵みをもたらしてくれますが、人間の暮らしが影響して生き物の生息・生育環境が減少し、生物多様性が失われていくことが心配されています。生物多様性の保全に向けた国際会議が開催される等、世界的に関心が高まるとともに、身近な地域においてもその保全に向けた取り組みが求められています。

川崎市では、生物多様性に関する課題のうち、市域の地域特性と生態系の多様性に着目し、生物多様性からもたらされる恵みを持続的に享受し、潤いのある豊かな地域を形成していくために、生物多様性基本法に基づく地域戦略として、「生物多様性かわさき戦略～人と生き物 つながりプラン～」を策定しています。



川崎市

KAWASAKI CITY